

# プログラム変更について

2020（令和2）年4月

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

# プログラム変更について

- 関係業界団体及び個別の会社から提出されたNACC Sに対する2020年度プログラム変更要望は290件（※1）
  - 要望内容の精査、税関等関係省庁及び関係業界団体等の関係者との間で調整・検討を行い、プログラム変更案件を選定
    - ◆ 2020年度に実施したいプログラム変更案件として13（15）件（※2）を選定（別紙1 No1～No13）
    - ◆ 290件のうち、1件については、速やかに実施すべき案件として2019年度に緊急プログラム変更を実施（官案件）  
（別紙2「参考、2019年度緊急プログラム変更実施案件（官案件）<24件>」のうち、No6が該当）
  
- 検討結果については、以下のとおり

	検 討 結 果	件数
1	2020年度にプログラム変更を実施する予定の件数（別紙1）	13(15)
2	2019年度に緊急プログラム変更等として対応した件数（官案件）	1
3	その他	314
	① 税関、関係省庁案件のため要望を伝達	97
	② 過去に同様の要望を検討したが状況に変化なし	64
	③ 改変規模が大きいため単年度ではなく次期更改で検討	57
	④ 他利用者様の運用及び利用者様側システムへの影響が大きいため対応は困難	34
	⑤ システムの仕様上変更は不可	18
	⑥ NACC Sのシステム負荷が大きくなる、処理プロセスが複雑になることでサービスレベルが低下する恐れがあるため、対応は困難	16
	⑦ 現行で代替があり	15
	⑧ 次期更改の検討項目に同様の案件がリストアップされている	7
	⑨ 発生頻度が少ないため見送り	6

※1：重複した内容を集約した件数であり、実際の要望数は330件

※2：3要望を1案件に集約後の件数が13件

# プログラム変更案件一覧

I. 2020年度プログラム変更実施案件（別紙1）

II. 2019年度緊急プログラム変更実施案件（民案件）（別紙2）

参考. 2019年度緊急プログラム変更実施案件（官案件）

## I. 2020年度プログラム変更実施案件&lt;13件&gt;

No	要 望 内 容	変 更 内 容	備 考
1	<p>「輸出貨物情報登録（ECR）」で貨物登録を行った後、不積み等貨物の数量及び重量訂正が発生した場合、「輸出貨物情報登録呼出し（ECR11）」で訂正を行うことがあるが、その際、輸出者名情報がリセットされて再入力を行わないといけない。</p> <p>ECRで一度登録した情報となるため、ECR11でも輸出者情報がリセットされることなく、ECR登録時の情報を保持したままで、訂正等業務を行えるよう仕様を変更して欲しい。</p>	<p>「輸出貨物情報登録（ECR）」にて輸出入者コードとリンク付けされていない法人番号又は名称無効の輸出入者コードを入力して、輸出入者名を手入力した情報を「輸出貨物情報登録呼出し（ECR11）」で呼び出した場合に、手入力した名称を出力するように変更する。</p>	2020年度プログラム変更要望
2	<p>TPP11や日EU EPAの発効により経済連携協定税率を確認する頻度が増えたが、NACCSで確認できる業務がなく、webタリフで確認している。</p> <p>経済連携協定税率の適用の有無や、経済連携協定税率の引き下げなど輸入申告における確認の利用頻度が多いため、品目コードと国名コードを入力し、品名及び適用税率が表示される（適用不可の場合は*****の表示）NACCS照会関係業務を新設して欲しい。</p>	<p>輸入の品目コード（10桁）、EPA等の国コード、照会対象日付を入力することで、入力された組み合わせで利用可能な税率を照会する新規業務を追加する。</p>	2020年度プログラム変更要望
3	<p>審査区分「1G」（原本提出が必要な通関関係書類が存在する（許可後））、区分「1Y」（区分1であるが提出が必要な通関関係書類（電子的提出が可能）が存在する）等、税関へ「申告添付登録（MSX）」で通関関係書類を提出する必要がある申告に関しては、システムのMSXで提出済みか否かを確認できないために通関業者毎に控え書類にチェックを入れたり、申告区分別一覧表に手書きでチェックを入れるなどの紙ベースでの対応をしている。</p> <p>MSXで通関関係書類が未提出の一覧表を通関業者側で出力できるようにして欲しい。</p>	<p>「輸入申告等一覧照会（IDI）」及び「輸出申告等一覧照会（IES）」に、新規照会種別「通関関係書類未提出申告一覧」を追加する。</p>	2020年度プログラム変更要望

## I. 2020年度プログラム変更実施案件&lt;13件&gt;

No	要 望 内 容	変 更 内 容	備 考
4	「積荷目録状況照会 (IMI)」の照会区分「B (B/L 番号一覧照会)」に事前通知コード欄を追加して欲しい。	「積荷目録状況照会 (IMI)」の照会区分「B (B/L 番号一覧照会)」において、出力項目「仮陸揚識別」を「仮陸揚識別・事前登録有無」に変更し、出力対象 B/L に事前通知が登録されている場合には3桁目に「*」を出力するように変更する。	2020年度プログラム変更要望
5	貨物情報に対し「船卸確認登録(一括) (PKI)」等が実施済みの場合、貨物情報から「輸入コンテナ引取予定情報通知(ID通知) (RSS01)」の「通知先」が出力されるようにして欲しい。	「船卸確認登録(一括) (PKI)」等が実施済みで「輸入コンテナ引取予定情報通知 (ID通知) 呼出し (RSS12)」において、入力されたB/L番号が保税地域に蔵置中の場合、蔵置中の保税地域コードに紐づく利用者コードを「輸入コンテナ引取予定情報選択 ID 通知呼出情報 (SAL101)」の「通知先」欄に出力するように変更する。	2020年度プログラム変更要望
6	<p>①現行内容で申請を行う場合に他所蔵置申請とそれに関連する貨物取扱届（他所蔵置場所での貨物を取り扱いの届出）は、NACCSの利用が不可となるので汎用申請業務の対象に追加して欲しい。</p> <p>②「簡易貨物情報登録(SCR)」について、上流情報の無い貨物の情報登録のみを行う業務として、その後の「他所蔵置申請 (TYC)」からの後続業務を可能とし、貨物搬入は「搬入確認登録(BIA)」の搬入識別コード「D (ポートノートのみによる保税運送)」を利用できるようにして欲しい。</p> <p>③ポートノートで他所蔵置場所へ搬入する場合、後続業務をシステムに繋げるための簡易貨物情報を新設して欲しい。</p>	「他所蔵置許可申請 (TYC)」の先行入力を可能とし、通関業者による他所蔵置場所での「システム外搬入確認 (輸入貨物) (BIB)」が可能となるように変更する。	2020年度プログラム変更要望

## I. 2020年度プログラム変更実施案件&lt;13件&gt;

No	要 望 内 容	変 更 内 容	備 考
7	<p>輸入のためにシステム外空港に到着した航空機は、AIR NACCSにおいて「AWB情報登録（ACH）」が実施出来ず、またAIR WAYBILLも発行されないため、他所蔵置にて搬入確認、輸入申告業務が行われている。</p> <p>使用要件限定措置等が必要であるが、通関業者も「搬入確認登録（システム対象外保税運送）（OIN）」を実施、又はAWBデータを作成できるようにし、さらに後続業務ができるようにして欲しい。</p>	<p>通関業者による他所蔵置場所での「搬入確認登録（システム対象外保税運送）（OIN）」が可能となるように変更する。</p>	<p>2020年度プログラム変更要望</p>
8	<p>「搬入確認登録（保税運送貨物）（BIA）」にて、「搬入年月日」欄に初期値として日にちが表示されない。</p> <p>初期値として当日が表示されるようにして欲しい。</p>	<p>パッケージソフトで「搬入確認登録（保税運送貨物）（BIA）」の入力画面展開時に、「搬入年月日」欄に初期値として当日（業務実施日）を表示するように変更する。</p>	<p>2020年度プログラム変更要望</p>
9	<p>「貨物情報照会（ICG）」又は「コンテナ情報照会（ICN）」から業務リンクで「輸入コンテナ引取予定情報通知（ID通知）（RSS01）」へ展開されない。ICGやICNから業務リンクでRSS01へ展開して欲しい。</p>	<p>「貨物情報照会（ICG）」の入力画面の「貨物管理番号」欄に、「輸入コンテナ引取予定情報通知（ID通知）呼出し（RSS11）」への業務リンクを追加する。</p>	<p>2020年度プログラム変更要望</p>
10	<p>6次NACCSでは「船舶運航情報登録呼出し（VTX11）」で港の寄港順序が変更になった際、本邦寄港順序を変更するだけで便利になったが、寄港順序を変更後、税関に対して「入港前統一申請（VPX）」の訂正を行うと「算出された本邦寄港順序が訂正前の入港前統一申請の本邦寄港順序と異なる」というエラーとなり、訂正ができない仕様を変更して欲しい。</p>	<p>「入港前統一申請（VPX）」で寄港順序が変更になった場合に訂正ができるように変更する。</p>	<p>2020年度プログラム変更要望</p>

## I. 2020年度プログラム変更実施案件&lt;13件&gt;

No	要望内容	変更内容	備考
11	「輸出申告事項登録（EDA）」で法人番号を入力した場合で、法人番号が存在する場合の識別符号に関して、空白で送信をした場合に「1：法人」を自動的に補完するが、当初は「3：不明」で入力しその後に、法人番号を補完した場合には入力内容の上書きが行われずに「3」のみである。法人番号が入力された場合には、識別符号を強制的に「1」に変更して欲しい。	「輸入申告事項登録（IDA）」、「輸出申告事項登録（EDA）」等で、輸出入者コードに法人番号が入力され、識別符号に「3」が入力された場合に、エラーとなるよう識別符号DBのCSF変更を行う。CSF設定変更に伴い、ヘルプメッセージを変更する。	2020年度プログラム変更要望
12	「積荷目録状況照会（IMI）」の照会区分「C（コンテナ番号一覧照会）」ではコンテナ1本ずつしか選択できない。「積荷目録状況照会（IMI）」の照会区分「B（B/L番号一覧照会）」と同様、表示されているコンテナを同時に選択できるようにして欲しい。	「積荷目録状況照会（IMI）」における「積荷目録状況照会情報C（コンテナ番号一覧）」について、グリッド画面に変更する。	2020年度プログラム変更要望
13	「貨物情報照会（ICG）」の業務リンクに「出港前報告照会（IAR）」がない。CNEE住所/荷渡地表示が無い。業務リンク、もしくはICGの表示項目を増やして欲しい。	「貨物情報照会（ICG）」において、「出港前報告照会（IAR）」への業務リンクを追加する。	2020年度プログラム変更要望

概算経費計：約4,034万円（税抜）

## Ⅱ. 2019年度緊急プログラム変更実施案件（民案件） <1件>

別紙2

No	事 項	リリース時期
1	多数件処理業務に係る遅延への対応について	2019年9月15日

## 参考. 2019年度緊急プログラム変更実施案件（官案件） <24件>

### (1) NACCS < 17件>

No	事 項	リリース時期
1	法務省入国管理局の名称変更	2019年7月
2	消費税に係る軽減税率対応	2019年9月
3	原産地証明書識別の原産地証明書等区分の新規区分追加 他3件	2019年11月
4	厚労省職員向けパッケージソフトの改修	2020年1月
5	修正申告確認情報に係る仕様変更について 他8件	2020年3月
6	管理資料「航空輸入貨物搬出入データ（T19）」に係る収集条件の変更について	

### (2) 貿易管理サブシステム < 7件>

No	事 項	リリース時期
1	包括輸出許可申請の電子申請義務化対応 他2件	2019年7月
2	申請書作成ソフトの数量単位のリスト化 他3件	2020年3月